

科目名	社会・集団・家族心理学			担当教員	吉田 琢哉	
単位	2単位	講義区分	講義		ナンバリング	ED2SPS111
期待される学修成果	基礎教養 自己形成					
アクティﾌﾞ・ﾗｰﾆﾝｸﾞ の要素	ディスカッション、ﾃﾞｨﾍﾞｰﾄ					
実務経験						
実務経験を生かした授業内容						
到達目標及びテーマ	社会心理学は、人が他者や集団・社会と適切に関わるための知見を提供する学問である。こうした知見を現実の社会で活用できるようになることを到達目標とする。また、家族心理学の知識を踏まえて、家族の問題を多角的に分析することができることも目標とする。					
授業の概要	自己や他者を認知する際の思考の様式、他者とのコミュニケーションによる関係の形成や態度の変容、他者が存在することによるパフォーマンスへの影響、集団のダイナミックス、多様な家族の形とそのリスク要因等について学ぶ。理論の進展について理解するために学術論文の講読も行う。 【デジタル技術利用 該当番号：①、③、④】					

授業計画	
第1回	社会・集団・家族心理学とは
第2回	対人認知
第3回	社会的比較
第4回	対人魅力
第5回	対人関係の形成と発展
第6回	恋愛関係の理解
第7回	対人コミュニケーション
第8回	社会的影響
第9回	説得的コミュニケーション
第10回	他者との協力
第11回	社会的葛藤と公正
第12回	システムとしての家族
第13回	家族のかかえる問題
第14回	文化と心
第15回	授業全体の総括と学習到達度の確認試験

事前学修	2時間	事前に配布した読解資料を精読しておくこと。
事後学修	2時間	小課題を課すので、講義内容を復習しながら課題に取り組むこと。
フィードバックの方法	レポートの内容について提出後の授業で解説する。	

成績評価方法	割合（％）	評価基準等
定期試験	0%	実施しない
レポート	30%	授業の中でレポート課題を出す。授業内容を踏まえたレポートの作成が求められる。
上記以外の試験・平常点評価	70%	授業内で課す小課題への取り組み(40%)および確認テスト(30%)により評価する。

補足事項	5回の欠席で成績評価は「失格」とする。生成AIの利用は認めない。
------	----------------------------------

教科書				
書名	著者	出版社	ISBN	備考
教科書は使用しない。資料を適宜配布する。	なし	なし	なし	なし
参考資料	必要に応じて適宜紹介する。			